

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	気分転換やストレスの発散、五感の刺激の機会として、日常的な外出や散歩の機会を増やすことが望まれる。	年間行事を含め日常の外出(買い物、散歩)を増やし季節を感じて頂ける機会を増やす。	入居者の状態に合わせながら外出の援助計画を立てる。日中、日の良い時など散歩や買い物に積極的にお連れする。	12ヶ月
2	6	スピーチロックなどの高度な身体拘束廃止を更に徹底させる為には、ホーム内研修や委員会を設置することが望まれる。	身体拘束ゼロ宣言施設として、全職員が身体拘束廃止についての重要性を認識し知識を深める。	法人内研修、外部研修へ積極的に参加し学んだ知識を施設内で伝達し職員全体で身体拘束廃止に取り組む。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。